

<b>学校名</b>	熊谷市立別府中学校
<b>所在地</b>	熊谷市西別府1817
<b>電話</b>	048-532-6004

## 1 本校の概要

本校は、生徒数 153 名、1 年 1 クラス、2・3 年 2 学級並行の小規模校である。別府小学校から入学してくる生徒がそのほとんどを占め、生徒同士の仲がよく、落ち着いた学校生活を送っている。周囲は住宅地で、学区に平成 30 年 2 月 13 日に国指定史跡となった幡羅官衙遺跡群はらかんがいせきぐんがある落ち着いた環境の学校である。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・図書館補助員との連携

### (2) 実践の概要

図書委員を中心とした読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組の紹介と図書館補助員との連携

#### ア 図書集会の実施

11 月の生徒朝会を利用して、図書集会を行った。今回は ①貸し出し図書調査の発表と表彰 ②「自分さがし」というテーマのもと 6 冊の本のブックトークを行った。



#### ・選んだ本

- 「ストライプ」デヴィット・シャノン文と絵  
清水奈緒子訳セーラー出版
- 「愛の家」大谷美和子/作 浜田洋子/絵 国土社
- 「獣の奏者」上橋菜穂子/作 講談社
- 「ハッピーバースデー」青木和雄/作  
吉富多美/執筆協力 金の星社
- 「チェンジング」吉富多美/作 金の星社
- 「戸村飯店青春 100 連発」瀬尾まいこ/作  
(村上淳子著  
「だれでもできるブックトーク 2」参照)

### イ リクエスト本の購入

全生徒を対象に読んでみたい本の希望を採り、その後図書委員会で検討し、採用された本について、予算の一部を使い購入している。自分のリクエストした本が書架に並んだことは生徒の興味関心を引いた。

### ウ 図書館補助員との連携

本校の学校図書館補助員は、週に 4 回勤務しているが、積極的に図書館整備に携わっている。図書の整理だけでなく、生徒が各教科で学習した内容に合わせて、図書室の掲示を変えてくれている。例えば、国語で四字熟語を学習したときには、生徒がさらに多くの四字熟語を習得できるように、図書室の廊下に関連の本や興味をもてる内容の掲示物を掲示し、環境整備を行っている。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

図書集会の読み聞かせを通して、読書嫌いの生徒にとっても本が身近なものに感じられるようになったようだ。集会後に昼休みの図書室を訪れ、本を手取る生徒の姿が見られたことはうれしいことであった。また、図書館補助員と、毎日図書室で顔を合わせ話をすることによって、図書室運営や環境整備について検討することができた。

### (2) 課題

できるだけたくさんの生徒に本を読ませたいと考えているが、読書傾向が偏ってしまっているのが現状である。今後も生徒が幅広い分野の良質の本を手にとる工夫を続けていきたい。

### (3) おわりに

今までの活動を振り返ることによって、これから実践できることもまだまだありそうに感じる。今後も図書委員会や図書館補助員と協力しながら、生徒の読書意欲を喚起していきたい。